

## 鬼アプリ

節分の季節になると、鬼の話が出てきますね。どうしても子どもが言うことを聞かない、あれこれ手をつくしても、どうにもならない時などについて使ってしまうがちな『鬼が来るよ～オバケが来るよ～』などの、子どもを脅かして言うことを聞かす方法。親なら1度は使ったことがあると思います。



最近では鬼アプリなるものも登場。が、泣き止まなくなる・夜寝つけなくなる・トイレに行けなくなるなど、やり方によっては子どもにトラウマを植え付けてしまったり、親子の信頼関係に響いたり。

それに「鬼が怖いから、今だけ言うこと聞いておこう」これでは何の意味もありませんし、結局同じことを繰り返すので、親も疲れます。

そして、よくよく考えてみると、脅かすという行為自体は日常的に何気なく使っているのかもしれませんが…

- ・ 片づけないなら、おやつはなしだよ
- ・ いうこと聞かないと置いていくわよ

こういった場合、ほとんど親のメリットを優先した叱り方ではないでしょうか。

そもそも子どもを脅かす子育ては賛否両論なのです。

### 【賛成派の意見】

嘘も方便。説明してもまだまだ理解できない子どもを守るには、怖い存在も必要。

### 【反対派の意見】

そもそも嘘をつくという行為を教えていいのか。

脅かすことにより、子どもに悪い影響が出る。

親の都合で言うことを聞かせたいという目先の理由ではなく「どうしてダメなのか」根本を子どもに理解してもらうためには、脅しを乱用せず本当に必要なことを教える時に限定することと、なぜ怒られているのかの理由もセットで、なおかつ子どもにわかる言い方で伝えていくことが大切かもしれません。

